

単元名「Where is the post office?～外国の人に地域のお気に入りスポットを紹介しよう～」

第5学年 聞くこと

話すこと [やり取り]

◆本実践の概要

お気に入りの場所の魅力を相手に具体的に紹介するために、「個別最適」な方法を自ら選択して、自分の表現を深める学習。

1 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標

聞くこと	話すこと [やり取り]
ゆっくりはっきりと話されれば、道案内の場所や位置の具体的な情報を聞き取ることができる。	基本的な表現を用いて、場所についてたずねたり、道を案内したりすることができる。

2 単元の目標

自分たちの住む地域に初めて来た人に、自分のお気に入りスポットを紹介したり、その位置を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりすることができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識> Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. It's in/by/on/under~. You can see it on your left/right. およびその関連語句などについて、理解している。 <技能> 場所や位置のたずね方や答え方などについて、聞き取る技能を身に付けている。	自分の知りたい場所や位置をたずねたり、相手を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方などについて、短い話の概要を捉えている。	自分の知りたい場所や位置をたずねたり、相手を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方などについて、短い話の概要を捉えようとしている。
話すこと「やり取り」	<知識> Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. It's in/by/on/under~. You can see it on your left/right. およびその関連語句などについて、理解している。 <技能> 場所や位置のたずね方や答え方などについて、Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. It's in/by/on/under~. You can see it on your left/right. およびその関連語句などを用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合う技能を身に付けている。	自分たちの住む地域に初めて来た人に向けて、自分のお気に入りスポットを紹介したり、その位置を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方などについて、伝え合っている。	自分たちの住む地域に初めて来た人に向けて、自分のお気に入りスポットを紹介したり、その位置を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方などについて、伝え合おうとしている。

4 単元について

富士河口湖町には毎年多くの観光客が訪れており、コロナ禍の前までは町中でも外国の人が道を歩いている姿を多く見かけた。本単元では、児童の身近で起こり得る外国人とのやり取りを想定し、先生や友達とやり取りを通して、自ら工夫して道案内することを目標とした。また、地域には魅力的な場所がたくさんあることから、自

分たちの住む富士北麓地域について、お気に入りの場所を紹介し、その場所への道を案内するという活動も合わせて単元のゴールに設定した。自分たちにとって身近な地域のことを題材にすることで主体的に学習に取り組むための手立てとした。

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、単元末に「自分のお気に入りの場所を紹介する」という言語活動を設定し、「個別最適」な方法を児童が自ら選択して、自分の表現を考えるようにした。具体的には、①デジタル教科書で単語の言い方を確認する②ミライシードのオクリンクでALTが録音したフレーズの言い方を確認する③プリントにまとめた表現を振り返る④Google 検索でその場所について調べる⑤教師や他の児童に質問する、といった選択肢を示した。特にデジタル教科書やミライシードの活用では、読み上げ機能から意味と発音を同時に学ぶことができ、主体的に学習に取り組むことができると考えた。また、実際にペアでやり取りを行い（「協働的な学び」）、中間指導において共有した内容を基に、児童が自分のやり取りを振り返り、さらに自分の表現をブラッシュアップさせる時間も設定した。

振り返りの時間には、Google のドキュメントや forms（アンケート機能）を活用し、デジタルで振り返りシートの記入および回収を行った。日々の授業での活用を進めることで、手書きよりも記述量が増え、内容も深まり、児童の意欲付けにつながった。振り返りシートを作成することで、各時間の目標や言語活動を教師と児童が共通理解することができ、目標の達成状況を振り返ることで、指導と評価の一体化を進めることができると考えた。

5 単元の指導と評価の計画（全8時間） 個…個別最適な学び 協…協働的な学び

時	目標(◆) 主な活動(○) 誌面化されている活動(【】)	評 価		
		知技	思判表	態度
1	◆場所をたずねたり、答えたりするやり取りのおおよその内容を理解する。 ○【Small Talk】 指導者からの質問に Yes, it is./No, it's not. で答える。 ○単元末の Activity のデモンストレーションを見て本単元の見直しを持つ。 ○【Word Link】 「道案内」の単語を復唱する。 ○【Let's Try】 言われた PD の「道案内」を指す。			
2	◆場所をたずねたり、答えたりするやり取りのおおよその内容を理解する。 ○【Word Link】 「位置」の単語を復唱する。 ○【Starting Out】 道案内の表現を確認する。 ○【Let's Watch and Think】 絵を見て、何の記号を表しているかを予想する。			
3	◆探しものがどこにあるのかたずね合う。 ○【Small Talk】 指導者からの質問に It's by/in/on/under ~. で答える。 ○【Word Link】 「日常生活」の単語を復唱する。 ○【Let's Try】 ペアになって探しものがどこにあるのかをたずね合う。			
4	◆地図を使って道案内する。 ○【Word Link】 「建物など」の単語を復唱する。 ○【Let's Try】 地図のプリントを使って、道案内のやり取りをする。 ○【Activity】 p.46-47 の町の地図から場所を一つ選び、ペアで道案内をする。	○ やり 取り		
5	◆自分のお気に入りのスポットの紹介やその位置の案内をするため準備をする。 ○【Small Talk】 指導者からの質問に I want (建物など). と答える。 ○【Activity】 お気に入りの場所を選ぶ。やり取りに使う表現を確認する。			
6 本 時	◆地域に初めて来た人に、自分のお気に入りのスポットを紹介し、案内するために、おすすめしたいことなどについて、友達と伝え合うことができる。 ○【Small Talk】 お気に入りの場所の紹介に関わる表現を使いながら話す。 ○【Activity】 ペアでやり取りをしながらお気に入りの場所を案内する。			
7	◆地域に初めて来た人に、自分のお気に入りのスポットを紹介し、案内するために、おすすめしたいことなどについて、友達と伝え合うことができる。 ○パフォーマンス課題 ペアでやり取りをしながら、お気に入りの場所とその位置について案内をする。		○ やり 取り	○ やり 取り
8	◆世界の地図や標識について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。			

6 本時の授業（第6時）

(1) 目標 地域に初めて来た人に、自分のお気に入りのスポットを紹介し、案内するために、おすすめしたいことなどについて、友達と伝え合うことができる。

(2) 展開例

時間	主な学習活動と児童の反応	評価と配慮事項
10分	○Greeting ○Small Talk ・おすすめスポットの紹介に関わる表現を使いながら話す。 ○Today's goal <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> みんなの住む地域に初めて来た人に、お気に入りスポットやその位置を紹介しよう。 </div> ○Let's sing	☆本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
30分	○復習タイム① デジタル教科書、ミライシードを使って、位置や場所を表す言葉、道案内の表現などを、個別に確認する。   ○Activity ・HRTとJETによるデモンストレーションを見る。 ・やり取り① ペアになり、お気に入りの場所の紹介とその位置を道案内する。   ・初めのペアでやり取りをした後、指名されたペアが全体の前でデモンストレーションをする。  <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【協働的な学び】 中間指導では、A(紹介される側)のその場に応じたリアクション、B(紹介する側)が話した魅力を具体的に伝えるための表現をピックアップした。 </div> ・復習タイム② 上手く言えなかった表現を各自デジタル教科書、ミライシードで再確認したり、デモンストレーションを参考に自分の表現をブラッシュアップさせたりする。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【個別最適な学び】 今回は言語面での復習だけでなく、1回目のやり取りや友達のデモンストレーションを参考に、紹介の文を付け足す児童が数名見られた。自己調整しながら内容面で自分の表現をブラッシュアップさせることができていた。 </div> ・やり取り② ペアを変えて後半のやり取りを行う。	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【個別最適な学び】 紹介や道案内に使う単語やフレーズの言い方を、音声読み上げ機能を使って確認する児童が多かった。教師と確認する児童もいた。言語面を中心に自分の表現を深められた。 </div> ・教師のデモは児童と同じ表現や資料を使い、進め方、ポイントを確認する。

